



字光式ナンバー用LED「R-ray」発売へ、ムラなくいつまでも新品の明るさで光る

© 2019年11月8日 11:30 △ レスポンス

LED製品開発・販売のCGSは、輝度ムラを改善した字光式ナンバープレート用LED照明器具「R-ray」を11月11日より発売する。

CGSは、2008年にLED照明事業をスタート。公共事業の屋外用LED照明分野に特化した製品の企画・開発・販売で好評を得てきた。今回、これまで蓄積した設計ノウハウを車載用LED照明分野に反映し、独自の特徴を持つ字光式ナンバープレート用LED照明器具「R-ray」を開発した。

従来の字光式ナンバープレートには、発光文字に輝度ムラが発生し、視認性が低下するという課題があった。新製品R-rayは直下型バックライト方式と新開発レンズを採用し、輝度ムラを大幅に改善。輝度ムラの均一性を示す指標である輝度測定数値（1に近いほど輝度ムラが少ない）では、一般的な製品が2.4から7.1で平均は3.7であるのに対し、R-rayは1.7を実現している。

また一般的な製品は、使い始めこそ十分な明るさがあるが、LEDパッケージの温度上昇と時間経過にともない劣化が進み、3万時間経過後は50%まで明るさが落ち込む。このR-rayは、独自の放熱構造によってLEDパッケージの温度上昇を抑制。10万時間経過後も97%の明るさを維持する。

価格（税別）は1万2000円（1台分2個2万4000円）。車を乗り換えるまでの永久保証（走行距離無制限）が付帯する。